

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	青少年教育一般管理(キャンプ事業)	シート番号	014-035
担当部署名	子ども青少年 局 子ども青少年育成 部 子ども育成 課	評価責任者(課長名)	橋本

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	学ぶ力・生きる力の育成	無
	2	事業開始年度	昭和 52 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	無			
	4	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン			
5	事業実施の経緯	青少年が豊かな自然環境の中で、共同生活を通じて交流を深め、創造力・社会性・協調性などを養えるように、自然体験活動の場を提供するため、昭和52年度より堺市青少年活動振興協会と共催でキャンプ事業を実施。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (堺市青少年活動振興協会) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市内在住・在学の小学生				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	青少年が豊かな自然環境の中で、共同生活を通じて交流を深め、創造力・社会性・協調性などを養えるように、自然体験活動の場を提供する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	年間3回のキャンプ事業を実施。 日帰りキャンプ 2回 宿泊キャンプ 1回 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他()				
10	直接実施以外の主な支出先						

Ⅲ. 投入量

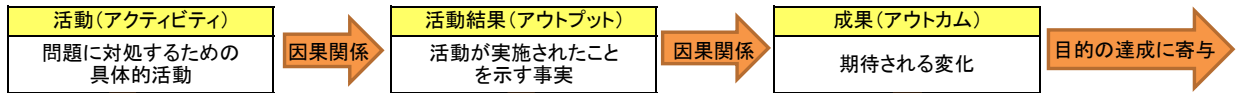
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11	事業費(a)	千円	1,515	1,465	1,515	957	1,304	1,029	1,211
	主な事業費内訳								
	謝礼金	千円	480	438	480	471	480	469	530
	委託料	千円	993	993	993	485	783	551	650
	その他	千円	42	34	42	0	41	9	31
	財源内訳								
	国・府支出金	千円							
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円								
市債	千円								
その他()	千円	1,000	993	1,040	486	1,040	551		
一般財源	千円	515	472	475	471	264	478	1,211	
12	人件費(b)	千円	1,960	1,960	1,970	1,970	1,950	1,950	820
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	3,475	3,425	3,485	2,927	3,254	2,979	2,031

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	青少年教育一般管理(キャンプ事業)	シート番号	014-035
-------	-------------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	自然体験の場の提供のためキャンプ事業を3回実施し、参加者数は63人であった。昨年度と同程度の目標値を設定したが、定員を少なくすることで、よきめ細かい交流と創造力・社会性・協調性をはぐくむことに寄与した。						
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	キャンプ事業応募率	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	63	213	200	
				達成率	63%	213%	200%	
				評価	少し悪い	大変良い	大変良い	
		算出方法・設定根拠など		自然体験の場を提供することで、青少年の健全な育成に寄与すると考えるため。				
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	16	キャンプ事業参加者数	人	目標値	190	80	85	48
				実績値	118	85	63	
達成率				62%	106%	74%		
評価				少し悪い	良い	少し悪い		
	算出方法・設定根拠など		キャンプ事業回数の縮小により令和2年度の目標値を再設定。					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	キャンプ事業参加者数	人	118	85	63
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,425	2,927	2,979
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	29,025	34,435	47,286
	備考(算出についての説明等)					
区分						
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	キャンプの実施回数は少なかったが、チラシの配架や、キャンプ参加経験者へのキャンプ事業案内の郵送など、周知の強化を図ったことから、定員数の約2倍の応募があった。令和2年度キャンプ事業の定員は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況も踏まえたうえで設定している。	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	青少年教育一般管理(キャンプ事業)	シート番号	014-035
-------	-------------------	-------	---------

≪V. 点検≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

コロナ禍を踏まえた点検(必要性・有効性・効率性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 市民への野外活動体験の場の提供と青少年の健全育成を図ることができない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 新型コロナウイルス感染症の影響で順次中止としている。次年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策と市民ニーズを踏まえ、安全な事業実施を検討していく。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 新型コロナウイルス感染症の感染予防を踏まえ、イベントの回数や実施手法等を工夫することにより、コストの削減を検討する。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 イベント実施にあたり、新型コロナウイルス感染症対策として、検温や手洗い、マスク着用を励行している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 次年度は、新型コロナウイルス感染症感染予防対策と市民ニーズを踏まえ、安全な事業実施を検討していく。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見	次年度は、新型コロナウイルス感染症感染予防対策と市民ニーズを踏まえ、安全な事業実施を検討していく。	